

博物館や文学館で新たな..!

● 桃の花咲く古河を味わう旅・その2

「春の小旅行・桃の花咲く古河を味わう」の続きは、「古河歴史博物館」です。10時10分から、係



の女性にご案内をお願いすると、最初にホールのレストラン・オルガンから説明がありました

【写真①②】。このオルガンは、開館した時にオランダで作られたもの

うです。そして、手動で紙の楽譜を送ることでパイプオルガンや太鼓で賑やかな演奏がなされます。華やかなお出迎えをいただきました



そして、館内を40分にわたってご説明いただき、鷹見泉石の偉業や古河の歴史をしっかりと解説していただきました。最後は、全員で..。

【写真⑤：鷹見泉石記念館を望む】

「鷹見泉石記念館」の門をくぐり、皆さんに記念館と「奥原晴湖画室繡水草堂」



を楽しんでいただきました。館の前には、大きなドウダントンツツジが芽吹きはじめていました。春の花、秋には紅葉が見事

そうです。今回は、管理人の方と、古河の魅力やこうした施設の管理について話させていただきました。茅葺き屋根は昨年1月に修復され、20年毎に葺き替え手入れが行われているそうです。壁は東日本大震災でも大きな影響は無く、土壁のひび割れを修復しただけで済んだそうです。170年近く経っている建物でありながらも維持修繕がしっかりと行われることで、これだけ立派に保たれるのかと驚きました。

石畳を歩いて文学館へ。

11時30分、「古河文学館」に着きました。ここでは、最初にサロンでゆっくりと蓄音機によるSPレコードの調べを楽しませていただきました【写真⑥】。この蓄音機は、EMGマークXbという名器だそうです。竹針の柔らかな調べでした。



さて、11時を過ぎて外に出ると、雨もあがり歴史館前には素敵な垂れ桜が咲いていました【写真④】。前回はここに桜の木があることさえ感じませんでした。失礼..。



続いて館内に展示されている古河ゆかりの文豪達の作品などを見学させていただきました。短時間ですみません。

